

■春屋妙葩 禅僧。夢窓疎石の甥。初代の僧録事。政界にも大きな影響力をもち、五山文芸にも優れ、中国にまで名声。

しゅんおくみょうは

・ ・ ・ ・ ・ 1311= 甲斐国で、_夢窓疎石の甥に生まれる。

文保御和談・1317= 6歳：_美濃国永保寺にいた夢窓を訪ねて僧童となり、

後醍醐天皇・1318= 7歳：

・ ・ ・ ・ ・ 1320= 9歳：

正中の変・ ・ 1324=14歳：_得度受戒、

ついで甲斐国恵林寺の道満に師事、

疎石円覚寺・1329=18歳：

鎌倉幕府滅亡1333=22歳：

二条河原落書1334=23歳：_鎌倉浄智寺で、5年前に来日していた元僧竺仙梵倦に師事後、

中先代の乱・1335=24歳：_南禅寺の夢窓に参じ、

南北朝分裂・1336=25歳：

足利尊氏將軍1338=27歳：

清拙正澄ら諸国の高僧を歴訪、禅知識を深め、_ついに夢窓の法嗣となる。

・ ・ ・ ・ ・ 1347=36歳：

・ ・ ・ ・ ・ 1351=40歳：_この年、夢窓が死去。

観応の擾乱終1352=41歳：

_將軍足利義詮から信頼され、

菟玖波集・ ・ 1356=45歳：

・ ・ ・ ・ ・ 1357=46歳：_等持寺に住するが、

足利尊氏死・1358=47歳：_天竜寺が火災に遭うと、その再建の幹事となって旧に復する

・ ・ ・ ・ ・ 1361=50歳：_臨川寺が被災した際にも、再建に当るなど、寺院の造営に才能を発揮し、

山名時氏征討1363=52歳：_*天竜寺第十世住持となる。臨川寺の住持ほか、

_その手腕を買われて等持寺・大光明寺などの各住持を歴任した。

・ ・ ・ ・ ・ 1365=54歳：

その活動は寺院内部にとどまらず、比叡山を中心とする旧仏教勢力の圧迫に対抗して禅宗、とりわけ夢窓派臨濟宗の興隆のためにしばしば政治的にも顕著な活動を行った。

細川頼之管領1367=56歳：高麗への幕府の返牒を起草した妙葩の名の上に義詮が僧録の二字を加えさせる。この年、天竜寺炎上、

足利義満將軍1368=57歳：この年、室町幕府3代將軍となった足利義満の帰依を受けるが、

・ ・ ・ ・ ・ 1369=58歳：_南禅寺山門の建立について比叡山衆徒の強訴事件が起きた際、管領細川頼之と結んでこれに対抗。また、

この事件に対する幕府の対応が曖昧であったことに憤慨、

・ ・ ・ ・ ・ 1371=60歳：_*妙葩を南禅寺住持として秩序回復を図る幕府の政策に抗議し、丹後雲門寺に隠住。さらに、このとき妙葩と行動をとらした弟子たちの僧籍を抹消した頼之とも対立するに至った。

鎌倉五山制定1373=62歳：この年、再建中の天竜寺がまた炎上、

観世父子登場1374=63歳：

高麗倭寇^レ1377=66歳：この年、幕府が臨川寺を五山に列する。

室町御所・ ・ 1378=67歳：この年、臨川寺が再び焼失。

義満親政始・1379=68歳：_*細川頼之が管領を辞したため、上洛、幕府とも和解して南禅寺住持の職を受け、また、同時に五山十刹の制の整備によって禅宗勢力の掌握を企てる義満の意を受けて、禅宗寺院の管理と人事を職掌とする初代の僧録事に就任した。北朝が妙葩に智覚普明国師の号を与える。

了俊九州支配1381=70歳：足利義満・管領斯波義将、春屋妙葩・義堂周信と五山十刹住持の任期を3年2夏に限る等を議定する。

義満全権掌握1382=71歳：_天竜寺に再住。

義満准三后・1383=72歳：

・ ・ ・ ・ ・ 1384=73歳：_義満の相国寺建立に協力、開山にあたり初代住持には故夢窓疎石を推挙したが、当寺第2世とされ、長らく義満の政治顧問的役割を担いながら、東福寺住持としてその修復にあたり、その発展に寄与して、

・ ・ ・ ・ ・ 1387=76歳：宝幢寺鹿王院に移り、

周信+良基没 1388=77歳：_没した。

みづから管領する莊園も多く、宗教界、政界に大きな影響力をもち、その名声は中国にまで伝わったという。詩集「雲門一曲」はじめ「普明録」など、五山文芸僧としても有名で、五山版印刷事業も行った。音楽的才能ある美声の持ち主で、「相国寺の声明」の基礎もつくったことなど、マルチな人間といえよう。